

■■■■HSC管内雪氷車両緩衝材破損事故（物損のみ）

NEXCO

- 発生日時:2018年12月28日(金) 6時53分頃
- 発生場所:新東名高速道路 岡崎東雪氷基地内（雪氷車両駐車場）
- 件名 :平成30年度 東名高速道路 ■■■■管内維持修繕業務(雪氷対策作業)
- 受注者 :中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
- 内容 :雪氷作業終了後、洗車を終え車庫へ格納する際、■■■■の運転する湿塩散布車が誤って車庫の柱と車両緩衝材(左側後方)を接触し破損させた事象。

■被災状況: 事故当事者: ■■■■

人的被害:なし

物的被害:雪氷大型車庫の柱に接触による湿塩散布車(■■■■)緩衝材

- 時系列: 6:53 事象発生
- 6:55 現場責任者よりメンテ担当者へ入電。
- 7:00 メンテ担当者より■■■■保全・サービスセンター当番課長へ報告
- 12/28 8:00 朝礼にて現場代理人より全作業員へ事故内容及び再発防止を周知

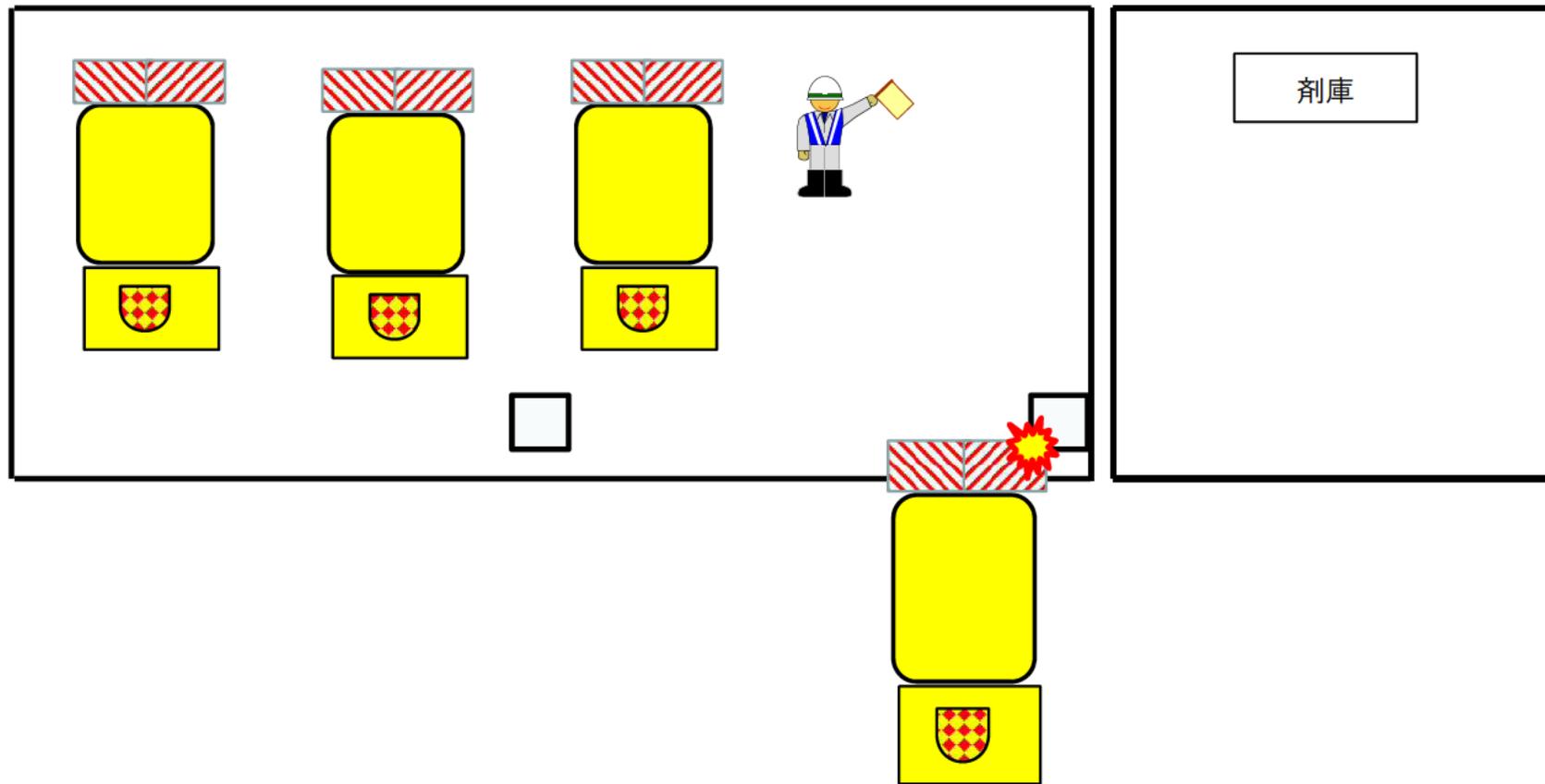
発生原因 車両を後進させるにあたり、誘導員を付けていたが周囲の確認が不十分であった。
誘導員の配置位置・連携が不十分だった。

- 今後の対策
- 後進させる際は、バック誘導の徹底をし誘導員と打合せを行う。
（後方の障害物の有無等の注意箇所確実に伝える。）
 - 運転手は乗り込む前に後方や周囲の状況確認を行う。
（打合せによる判断が難しい場合は、後退前に降りて自分で目で確認の徹底）
 - 誘導員は誘導位置を運転手から常に見えやすい場所に立つように徹底する。

HSC管内雪氷車両緩衝材破損事故（物損のみ）



HSC管内雪氷車両緩衝材破損事故（物損のみ）



HSC管内雪氷車両緩衝材破損事故（物損のみ）

【現況写真】



【誘導員の配置位置】

